

ゴールドマン・サックス 米国REITファンド

愛称：コロブスの卵

Cコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）

Dコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／不動産投信

Cコース	第10期末(2023年10月23日)		第10期	
	基準価額	9,449円	騰落率	-6.7%
	純資産総額	163百万円	分配金合計	0円
Dコース	第10期末(2023年10月23日)		第10期	
	基準価額	17,290円	騰落率	-0.8%
	純資産総額	727百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信				
信託期間	原則として無期限				
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。				
主要投資対象	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>本ファンド</td> <td>米国REITマザーファンドの受益証券</td> </tr> <tr> <td>米国REITマザーファンド</td> <td>米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)</td> </tr> </tbody> </table>	本ファンド	米国REITマザーファンドの受益証券	米国REITマザーファンド	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)
本ファンド	米国REITマザーファンドの受益証券				
米国REITマザーファンド	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場(NASDAQ)において取引されているREIT(不動産投資信託)				
運用方法・組入制限	<p>①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。</p> <p>②実質外貨建資産については、Cコースでは、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とし、Dコースでは、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>③本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。 				
分配方針	原則として毎計算期末(毎年10月23日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。				

第10期(決算日2023年10月23日)

作成対象期間:2022年10月25日～2023年10月23日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ゴールドマン・サックス 米国REITファンド Cコース/Dコース」は、このたび、第10期の決算を行いました。本ファンドは、米国のリートを主要投資対象として、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

ゴールドマン・サックス 米国REITファンドCコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）
（以下、「Cコース（為替ヘッジあり）」といいます。）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 分 配 金	期 中 騰 落 率	参 考 指 標	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
6期 (2019年10月23日)	13,310	0	18.8	16,571	22.8	96.3	282
7期 (2020年10月23日)	9,925	0	△25.4	13,560	△18.2	96.3	261
8期 (2021年10月25日)	13,867	0	39.7	19,495	43.8	96.8	236
9期 (2022年10月24日)	10,131	0	△26.9	14,829	△23.9	95.4	151
10期 (2023年10月23日)	9,449	0	△ 6.7	14,165	△ 4.5	95.9	163

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ヘッジ・ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2022年10月24日	10,131	—	14,829	—	95.4
10月末	10,656	5.2	15,735	6.1	94.0
11月末	10,837	7.0	16,182	9.1	95.3
12月末	10,539	4.0	15,729	6.1	93.3
2023年1月末	11,288	11.4	16,891	13.9	96.9
2月末	10,971	8.3	16,406	10.6	99.7
3月末	10,519	3.8	15,520	4.7	96.5
4月末	10,736	6.0	15,720	6.0	94.8
5月末	10,422	2.9	15,327	3.4	99.5
6月末	10,850	7.1	16,032	8.1	100.3
7月末	10,955	8.1	16,416	10.7	99.6
8月末	10,758	6.2	16,058	8.3	98.5
9月末	9,865	△ 2.6	14,774	△ 0.4	98.1
(期 末) 2023年10月23日	9,449	△ 6.7	14,165	△ 4.5	95.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ヘッジ・ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

ゴールドマン・サックス 米国REITファンドDコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）
（以下、「Dコース（為替ヘッジなし）」といいます。）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 引 前 分 配 金	期 中 騰 落 率	参 考 指 標	期 中 騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
6期 (2019年10月23日)	16,295	0	17.5	19,547	21.0	96.7	623
7期 (2020年10月23日)	11,809	0	△27.5	15,541	△20.5	97.1	543
8期 (2021年10月25日)	17,922	0	51.8	24,417	57.1	98.4	848
9期 (2022年10月24日)	17,430	0	△ 2.7	24,588	0.7	96.5	800
10期 (2023年10月23日)	17,290	0	△ 0.8	24,761	0.7	97.3	727

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 標	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比 率
(期 首) 2022年10月24日	17,430	—	24,588	—	96.5
10月末	18,269	4.8	25,908	5.4	95.7
11月末	17,491	0.3	25,118	2.2	96.5
12月末	16,279	△6.6	23,424	△ 4.7	95.5
2023年 1月末	17,269	△0.9	24,814	0.9	95.6
2月末	17,598	1.0	25,270	2.8	96.6
3月末	16,604	△4.7	23,515	△ 4.4	96.9
4月末	17,086	△2.0	24,017	△ 2.3	95.7
5月末	17,362	△0.4	24,489	△ 0.4	97.3
6月末	18,807	7.9	26,673	8.5	97.3
7月末	18,565	6.5	26,662	8.4	97.5
8月末	19,046	9.3	27,174	10.5	97.4
9月末	17,952	3.0	25,692	4.5	96.8
(期 末) 2023年10月23日	17,290	△0.8	24,761	0.7	97.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

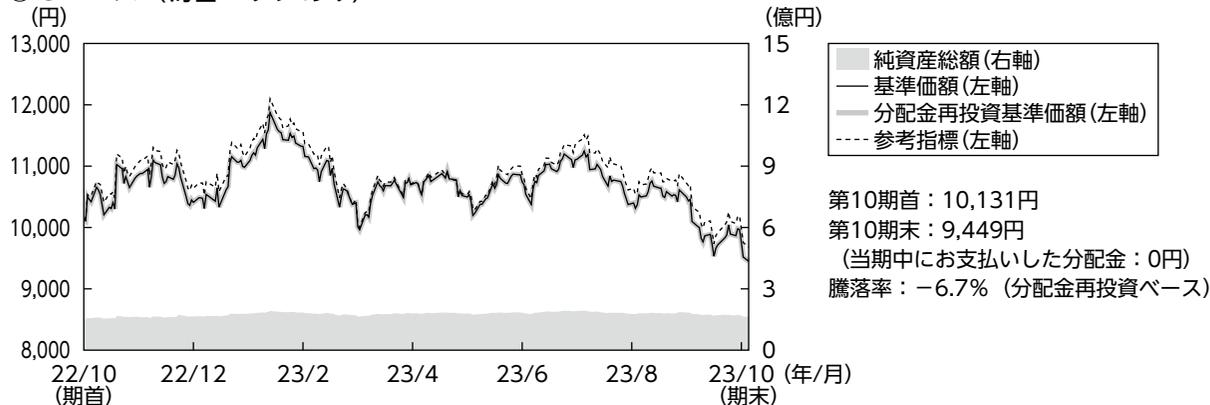
(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2013年10月23日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

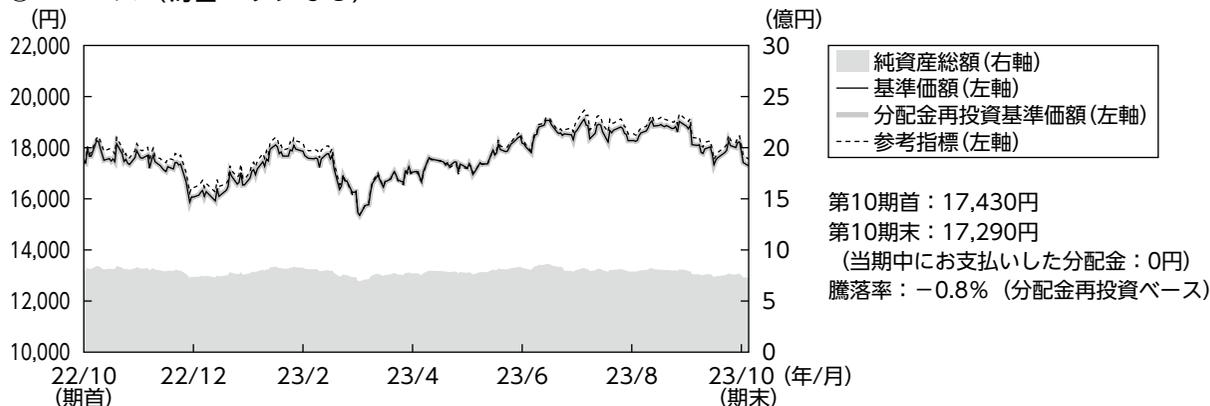
■運用経過

◆基準価額等の推移について (2022年10月25日～2023年10月23日)

○Cコース (為替ヘッジあり)



○Dコース (為替ヘッジなし)



(注1) 参考指標は、Cコース (為替ヘッジあり) はMSCI米国REITインデックス (円ヘッジ・ベース)、Dコース (為替ヘッジなし) はMSCI米国REITインデックス (円ベース) であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者 (以下総称して「MSCI当事者」といいます) は、MSCIの情報について一切の保証 (獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません) を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害 (逸失利益を含みます) およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

◆基準価額の主な変動要因

- Cコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の10,131円から682円下落し、期末には9,449円となりました。
 - Dコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の17,430円から140円下落し、期末には17,290円となりました。
- （以下、2ファンドを総称して本ファンドといいます。）

上昇要因

エクイニクスやウェルタワーが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。Dコース（為替ヘッジなし）においては、米ドルが対円で上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

エクストラ・スペース・ストレージやアレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

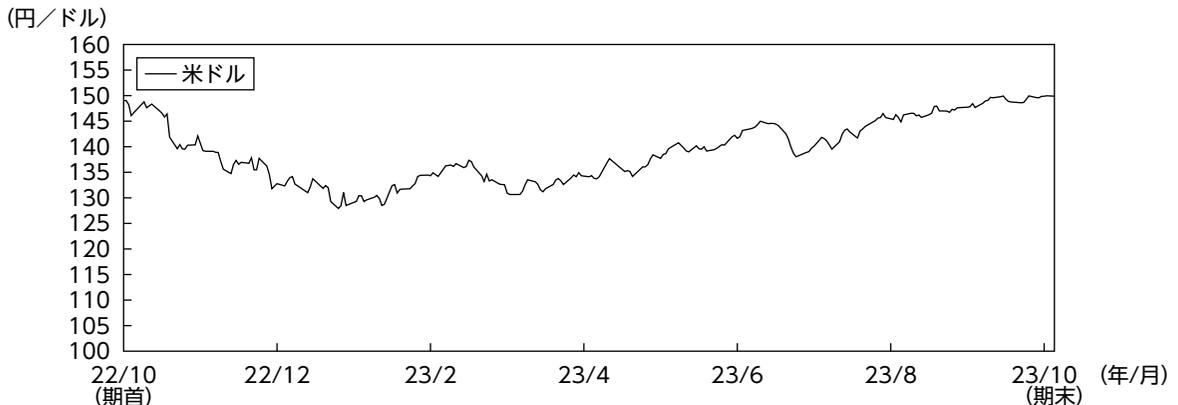
◆投資環境について

<米国リート市場>

米国リート市場は一進一退しながら、横ばいに推移しました。引き続き金融政策の方向性とインフレ動向に一喜一憂する市場環境となりました。期の前半は上昇しました。米国を筆頭に、一部地域の物価関連指標には先行きのピークアウトを示唆する内容が散見されたことや、株式市場全体が底入れの動きとなったことを追い風に上昇しました。その後、米国地銀の経営破綻をきっかけに欧州の金融機関を巻き込んだ金融不安が広がり、銀行が保有する不動産ローンや商業用不動産関連資産の劣化懸念が強まって不動産市場は総じて軟化しました。しかし、欧米当局によって金融システム不安の波及を防ぐ迅速な対応が発表されると市場は好感して、米国リート市場は底打つ動きとなりました。期の後半は下落しました。マクロ経済指標がまちまちとなるなか、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げが停止されるとの観測や米銀ストレステストの通過により金融不安が後退し、またニューヨークで大型オフィスの売買が成立したことも市場心理を押し上げ、オフィスセクターに牽引されて米国リート市場は上昇する局面もありました。しかし、その後、格付け機関による米国債の格下げやジャクソン・ホール会議で中立金利の上昇について議論されるとの観測などが米金利を押し上げたことや、ハマスとイスラエルの衝突をきっかけに中東情勢が緊迫したことが市場心理を冷やしました。政策面では、底堅い米景気指標が高金利および金融引き締め策の長期化を追認する格好となり、FOMC（米連邦公開市場委員会）を控えた米国リート市場は軟調な推移となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場では米ドルは円に対してわずかに上昇しました。



出所：一般社団法人投資信託協会

◆ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは米国REITマザーファンドを概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。また、Cコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

<本マザーファンド>

当期中の主なポジションとしては、社会生活の変化を追い風に構造的な成長が展望できるビジネスモデルを有するセクターをオーバーウェイトとした一方で、対照的に事業環境の悪化が見込まれるセクターをアンダーウェイトとしました。

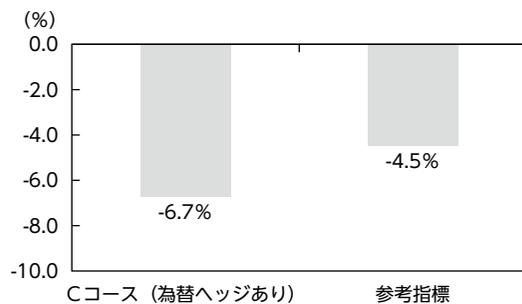
当期においてエクイニクスやウェルタワーが保有期間中に上昇したことがプラス寄与となりました。一方、エクストラ・スペース・ストレージやアレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズが保有期間中に下落したことがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

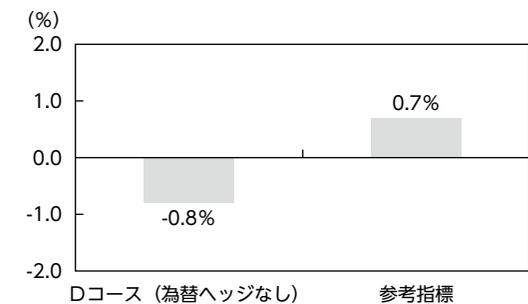
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

○Cコース（為替ヘッジあり）



○Dコース（為替ヘッジなし）



（注1）各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）参考指標は、Cコース（為替ヘッジあり）はMSCI米国REITインデックス（円ヘッジ・ベース）、Dコース（為替ヘッジなし）はMSCI米国REITインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期のCコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-6.7%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-4.5%となりました。Dコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-0.8%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+0.7%となりました。

◆分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Cコース（為替ヘッジあり）およびDコース（為替ヘッジなし）の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

<本ファンド>

引き続き本マザーファンド受益証券を概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、Cコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

<本マザーファンド>

米国リート市場において、当社では需給や資金調達環境などを注視しています。2022年は、新型コロナウイルス感染拡大後の経済回復の過程で顕在化したインフレへの対応が焦点となりました。サプライチェーン混乱の長期化に加えて、ロシア・ウクライナ情勢を背景とした資源・エネルギー高や脱グローバル化、製造拠点の国内回帰の趨勢などがみられました。金融政策面では、インフレ対策を目的とする連続的な利上げ実施などの引き締め策が各国金利の上昇を促し、グローバル・リート市場は株式市場同様に下落を余儀なくされました。2023年に入り、物価関連指標の伸びの鈍化を示唆するものが目立つようになり、インフレ高進は一時よりは収まりつつありますが、今後も従来に比べると依然として高位を維持するとみられます。不動産需給の観点では、新型コロナウイルス感染拡大からの回復局面でみた幅広いセクターでの需要回復ではなく、不動産の立地やテナントのファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の違いによって選別色が強まる可能性があることとみて、従来以上にクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。また、マクロ環境に応じた循環的な需給の変化に加えて、社会環境が構造的に変化するなかでその恩恵を受けられるセクターおよびテーマがある一方で、不動産および施設の需要を低下させる、逆風となるセクターおよびテーマもあり、その峻別がより重要な局面になると考えられます。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネスモデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

（上記見通しは2023年10月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

Cコース（為替ヘッジあり）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年10月25日～2023年10月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	168円 (88)	1.569% (0.823)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(70)	(0.658)	
(受託会社)	(9)	(0.088)	
売買委託手数料 (投資信託証券)	3 (3)	0.024 (0.024)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	6 (0) (5) (0)	0.055 (0.002) (0.050) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	177	1.649	

期中の平均基準価額は10,699円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

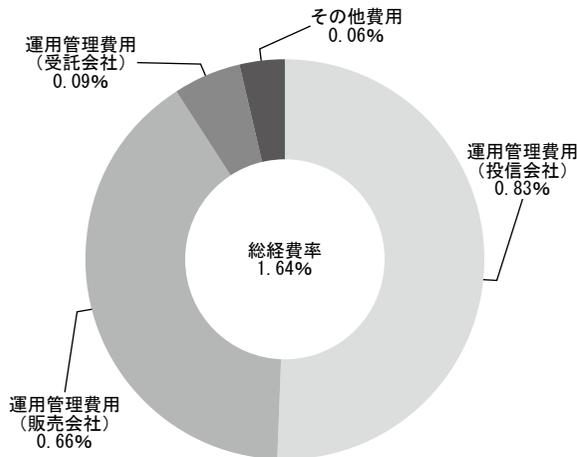
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.64%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2022年10月25日から2023年10月23日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 14,500	千円 47,704	千口 11,591	千円 39,942

■利害関係人との取引状況等（2022年10月25日から2023年10月23日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年10月23日現在）

親投資信託残高

種 類	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 44,708	千口 47,617	千円 158,526

■投資信託財産の構成

2023年10月23日現在

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 158,526	% 93.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,316	6.1
投 資 信 託 財 産 総 額	168,842	100.0

(注1) 米国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（64,651,329千円）の投資信託財産総額（64,651,433千円）に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=149.89円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2023年10月23日
(A) 資 産	326,508,324円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,315,313
米 国 REIT マザーファンド(評価額)	158,526,915
未 収 入 金	157,666,096
(B) 負 債	163,150,001
未 払 金	161,677,098
未 払 解 約 金	7,111
未 払 信 託 報 酬	1,420,727
未 払 利 息	22
そ の 他 未 払 費 用	45,043
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	163,358,323
元 本	172,879,017
次 期 繰 越 損 益 金	△ 9,520,694
(D) 受 益 権 総 口 数	172,879,017口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	9,449円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2022年10月25日 至 2023年10月23日
(A) 配 当 等 収 益	△ 3,746円
受 取 利 息	21
支 払 利 息	△ 3,767
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△11,655,210
売 買 益	24,984,764
売 買 損	△36,639,974
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,862,251
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△14,521,207
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△24,545,494
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	29,546,007
(配 当 等 相 当 額)	(49,484,576)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△19,938,569)
(G) 計 (D + E + F)	△ 9,520,694
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	△ 9,520,694
追 加 信 託 差 損 益 金	29,546,007
(配 当 等 相 当 額)	(49,634,416)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△20,088,409)
分 配 準 備 積 立 金	26,969,504
繰 越 損 益 金	△66,036,205

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

(注5) 期首元本額は149,377,107円、当作成期間中において、追加設定元本額は45,982,551円、同解約元本額は22,480,641円です。

Dコース（為替ヘッジなし）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年10月25日～2023年10月23日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	278円 (146)	1.569% (0.823)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(116)	(0.658)	
(受託会社)	(16)	(0.088)	
売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.025 (0.025)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	9 (0)	0.051 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(5)	(0.027)	
(その他)	(4)	(0.022)	
合計	291	1.646	

期中の平均基準価額は17,694円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

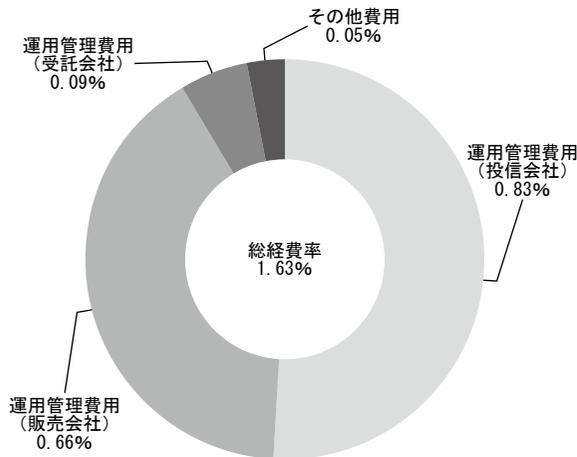
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2022年10月25日から2023年10月23日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 3,369	千円 11,224	千口 27,333	千円 93,248

■利害関係人との取引状況等（2022年10月25日から2023年10月23日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年10月23日現在）

親投資信託残高

種 類	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 239,189	千口 215,225	千円 716,528

■投資信託財産の構成

2023年10月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
米 国 R E I T マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 716,528	% 97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,211	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	734,739	100.0

(注1) 米国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（64,651,329千円）の投資信託財産総額（64,651,433千円）に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=149.89円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2023年10月23日
(A) 資 産	734,739,824円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,211,143
米国REITマザーファンド(評価額)	716,528,681
(B) 負 債	6,850,013
未 払 解 約 金	413,776
未 払 信 託 報 酬	6,238,205
未 払 利 息	38
そ の 他 未 払 費 用	197,994
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	727,889,811
元 本	421,000,857
次 期 繰 越 損 益 金	306,888,954
(D) 受 益 権 総 口 数	421,000,857口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	17,290円

■損益の状況

項 目	当 期	
	自 至	2022年10月25日 2023年10月23日
(A) 配 当 等 収 益	△	11,424円
受 取 利 息		86
支 払 利 息	△	11,510
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益		5,863,033
売 買 益		13,036,323
売 買 損	△	7,173,290
(C) 信 託 報 酬 等	△	12,788,550
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△	6,936,941
(E) 前 期 繰 越 損 益 金		43,937,125
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金		269,888,770
(配 当 等 相 当 額)	(217,411,942)
(売 買 損 益 相 当 額)	(52,476,828)
(G) 計 (D + E + F)		306,888,954
(H) 収 益 分 配 金		0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)		306,888,954
追 加 信 託 差 損 益 金		269,888,770
(配 当 等 相 当 額)	(217,714,825)
(売 買 損 益 相 当 額)	(52,173,945)
分 配 準 備 積 立 金		96,452,173
繰 越 損 益 金	△	59,451,989

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

(注5) 期首元本額は459,459,782円、当作成期間中において、追加設定元本額は58,213,824円、同解約元本額は96,672,749円です。

■分配原資の内訳

Cコース（年1回決算型、為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 10 期
	2022年10月25日～2023年10月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,431

Dコース（年1回決算型、為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 10 期
	2022年10月25日～2023年10月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,462

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

米国REITマザーファンド

親投資信託

第40期（決算日2023年10月23日）

作成対象期間：2023年4月25日～2023年10月23日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。法令・諸規則に基づき、親投資信託（マザーファンド）の期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（NASDAQ）において取引されているREIT（不動産投資信託）
組入制限	①投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000（代表）
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額		参考指標		投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 率 %		騰 落 率 %		
36期 (2021年10月25日)	33,322	21.6	57,176	21.1	99.0	96,935
37期 (2022年4月25日)	40,231	20.7	67,944	18.8	99.0	101,031
38期 (2022年10月24日)	32,931	△18.1	57,577	△15.3	98.1	74,741
39期 (2023年4月24日)	32,578	△1.1	56,231	△2.3	96.9	70,013
40期 (2023年10月23日)	33,292	2.2	57,982	3.1	98.9	64,651

(注) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2003年10月27日を10,000として指数化しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基準価額		参考指標		投 資 信 託 証 券 比 率
	円	騰 落 率 %		騰 落 率 %	
(期 首) 2023年4月24日	32,578	—	56,231	—	96.9
4月末	32,615	0.1	56,241	0.0	96.7
5月末	33,195	1.9	57,346	2.0	98.7
6月末	36,052	10.7	62,458	11.1	98.9
7月末	35,635	9.4	62,432	11.0	98.9
8月末	36,624	12.4	63,632	13.2	98.9
9月末	34,547	6.0	60,163	7.0	98.2
(期 末) 2023年10月23日	33,292	2.2	57,982	3.1	98.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標 (MSCI米国REITインデックス (円ベース)) は、2003年10月27日を10,000として指数化しております。

■運用経過

◆基準価額の推移について

(2023年4月25日～2023年10月23日)



◆基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の32,578円から714円上昇し、期末には33,292円となりました。

上昇要因

デジタル・リアルティイー・トラストやウェルタワーが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国リート市場（米ドルベース）が下落したことや、エクストラ・スペース・ストレージやプロロジスが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

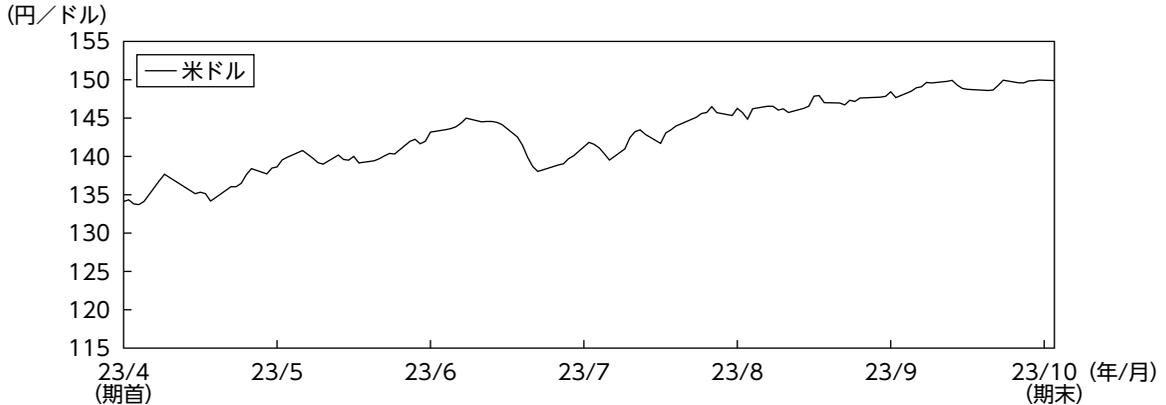
◆投資環境について

<米国リート市場>

米国リート市場は下落しました。引き続き金融政策の方向性とインフレ動向に一喜一憂する市場環境となりました。期の前半はマクロ経済指標がまちまちとなるなか、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げが停止されるとの観測や米銀ストレステストの通過により、金融不安が後退しました。また、ニューヨークで大型オフィスの売買が成立したことも市場心理を押し上げ、オフィスセクターに牽引されて米国リート市場は上昇しました。期の後半は、格付け機関による米国債の格下げやジャクソン・ホール会議で中立金利の上昇について議論されるとの観測などが米金利を押し上げ、その後も底堅い米景気を背景に高金利および引き締め策の長期化懸念が広がり、米国リート市場全体の重石となりました。また、ハマスとイスラエルの衝突をきっかけに中東情勢が緊迫したことや、市場予想を上回るインフレ関連指標も散見され、引き締め長期化を迫認する格好となり、FOMC（米連邦公開市場委員会）を控えた米国リート市場は軟調な推移となりました。

<外国為替市場>

外国為替市場では米ドルは円に対して上昇しました。



◆ポートフォリオについて

当期中の主なポジションとしては、社会生活の変化を追い風に構造的な成長が展望できるビジネスモデルを有するセクターをオーバーウェイトとした一方で、対照的に事業環境の悪化が見込まれるセクターをアンダーウェイトとしました。

当期においてデジタル・リアルティ・トラストやウェルタワーが保有期間中に上昇したことなどがプラス寄与となりました。一方、エクストラ・スペース・ストレージやプロロジスが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。当期の本ファンドのパフォーマンスは、+2.2%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+3.1%となりました。

今後の運用方針について

米国リート市場において、当社では需給や資金調達環境などを注視しています。2023年に入り、物価関連指標は伸び悩みを示唆するものが目立つようになり、インフレ高進は一時よりは収まりつつありますが、今後も従来に比べると依然として高位を維持するとみられます。また、金融政策面ではインフレ動向に応じて中央銀行ごとに強弱はあれど、依然として引き締め姿勢にあり、マクロ経済環境は厳しさを増すことが予想されます。不動産需給の観点では、新型コロナウイルス感染拡大からの回復局面でみた幅広いセクターでの需要回復ではなく、不動産の立地やテナントのファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の違いによって選別色が強まる可能性があることとみて、従来以上にクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。また、マクロ環境に応じた循環的な需給の変化に加えて、

社会環境が構造的に変化するなかでその恩恵を受けられるセクターおよびテーマがある一方で、不動産および施設の需要を低下させる、逆風となるセクターおよびテーマもあり、その峻別がより重要な局面になると考えられます。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネスモデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

(上記見通しは2023年10月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023年4月25日～2023年10月23日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資信託証券)	2円 (2)	0.006% (0.006)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	2	0.007	

期中の平均基準価額は34,778円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2023年4月25日から2023年10月23日まで)

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	百口 6,637	千米ドル 47,080	百口 10,228	千米ドル 78,578

(注) 金額は受渡し代金。

■主要な売買銘柄（2023年4月25日から2023年10月23日まで）
投資信託証券

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	柄	口数	金額	銘柄	柄	口数	金額
		千口	千円			千口	千円
VICI PROPERTIES INC		355	1,683,210	DIGITAL REALTY TRUST INC		115	2,079,408
AMERICAN TOWER CORP		50	1,430,032	TERRENO REALTY CORP		170	1,472,662
SBA COMMUNICATIONS CORP		34	1,222,060	EQUINIX INC		11	1,259,067
AMERICOLD REALTY TRUST INC		124	613,807	EASTGROUP PROPERTIES INC		46	1,090,603
SUN COMMUNITIES INC		29	566,110	AVALONBAY COMMUNITIES INC		32	863,225
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT		28	446,470	WELLTOWER INC		63	729,395
RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES		29	377,831	PROLOGIS INC		33	599,227
EQUINIX INC		1	210,244	RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES		29	415,692
PROLOGIS INC		8	163,561	INVITATION HOMES INC		74	372,587
				AMERICAN HOMES 4 RENT- A		70	362,561

(注) 金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2023年4月25日から2023年10月23日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年10月23日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当期			比率
	口数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
不動産ファンド	百口	千米ドル	千円	%
(アメリカ…ニューヨーク市場)				
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	1,700	16,163	2,422,694	3.7
AMERICAN HOMES 4 RENT- A	3,547	11,952	1,791,530	2.8
AMERICAN TOWER CORP	1,178	18,871	2,828,683	4.4
AMERICOLD REALTY TRUST INC	3,764	10,103	1,514,456	2.3
AVALONBAY COMMUNITIES INC	1,269	21,527	3,226,692	5.0
BOSTON PROPERTIES INC	1,468	7,916	1,186,581	1.8
COUSINS PROPERTIES INC	3,069	5,638	845,202	1.3
CUBESMART	4,773	16,958	2,541,963	3.9
DIGITAL REALTY TRUST INC	1,523	17,639	2,643,982	4.1
EASTGROUP PROPERTIES INC	1,300	20,391	3,056,429	4.7
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	2,299	14,908	2,234,635	3.5
EQUITY RESIDENTIAL	1,462	8,405	1,259,879	1.9
EXTRA SPACE STORAGE INC	1,376	15,089	2,261,790	3.5
HEALTHCARE REALTY TRUST INC	4,004	5,818	872,155	1.3
INVITATION HOMES INC	5,524	17,229	2,582,531	4.0
PARK HOTELS & RESORTS INC	4,833	5,636	844,816	1.3
PROLOGIS INC	3,806	38,987	5,843,870	9.0
PUBLIC STORAGE	479	12,032	1,803,551	2.8
RLJ LODGING TRUST	6,471	6,148	921,558	1.4
RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES	1,289	10,867	1,628,965	2.5
SUN COMMUNITIES INC	280	2,964	444,311	0.7
TERRENO REALTY CORP	2,674	13,988	2,096,763	3.2
UDR INC	3,825	13,275	1,989,878	3.1
VENTAS INC	3,670	15,352	2,301,159	3.6
VICI PROPERTIES INC	7,070	19,450	2,915,415	4.5
WELLTOWER INC	2,681	22,491	3,371,187	5.2
(アメリカ…米国店頭市場)				
EQUINIX INC	586	41,416	6,207,899	9.6
SBA COMMUNICATIONS CORP	789	15,150	2,270,873	3.5
合計	76,722	426,375	63,909,459	<98.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

■投資信託財産の構成

2023年10月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	63,909,459	98.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	741,974	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	64,651,433	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(64,651,329千円)の投資信託財産総額(64,651,433千円)に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=149.89円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2023年10月23日
(A) 資 産	64,651,433,615円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	675,119,127
投 資 証 券(評価額)	63,909,459,326
未 収 配 当 金	66,855,162
(B) 純 資 産 総 額(A)	64,651,433,615
元 本	19,419,492,396
次 期 繰 越 損 益 金	45,231,941,219
(C) 受 益 権 総 口 数	19,419,492,396口
1万口当たり基準価額(B/C)	33,292円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2023年4月25日 至 2023年10月23日
(A) 配 当 等 収 益	1,185,607,895円
受 取 配 当 金	1,185,607,930
支 払 利 息	△ 35
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	692,035,242
売 買 益	9,519,634,708
売 買 損	△ 8,827,599,466
(C) 信 託 報 酬 等	△ 527,163
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,877,115,974
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	48,522,107,543
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,068,874
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 5,171,351,172
(H) 計 (D+E+F+G)	45,231,941,219
次 期 繰 越 損 益 金(H)	45,231,941,219

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は21,490,903,938円、当作成期間中において、追加設定元本額は1,608,336円、同解約元本額は2,073,019,878円です。

(注5) 元本の内訳

ゴールドマン・サックス	米国REITファンドBコース (毎月分配型、為替ヘッジなし)	17,338,661,353円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドAコース (毎月分配型、為替ヘッジあり)	1,817,988,439円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドDコース (年1回決算型、為替ヘッジなし)	215,225,484円
ゴールドマン・サックス	米国REITファンドCコース (年1回決算型、為替ヘッジあり)	47,617,120円